

小学生 (4年生以上)
対象

夏休みワークショップ

ひょうちやく
漂着した

クジラ・イルカから分かること

2年前に約16.5mもの大きなマッコウクジラが本渡港付近に漂着したことをおぼえていますか。そのクジラから分かったことや調査・研究方法について長崎大学水産学部の天野教授が、実物の骨などを見せながらお話しします。

①「天草市内に過去漂着したクジラ・イルカについて」

水産振興課

令和2年3月。天草の豊かな海に約16.5mのマッコウクジラが漂着しました。もちろん事前にお知らせなどないため、16.5mの巨体を目の前にして、どう対処するか迫られました。クジラの漂着から5日間の市の対応をお話するとともに、過去にどのような生物が漂着したのかもご紹介をします。



※ミナミハンドイルカの全身骨格標本。
大きさ3m。
当日、見られるよ！

②ワークショップ「漂着したクジラ・イルカから分かること」



長崎大学 水産学部
海棲哺乳類研究室 天野雅男教授

まれに海岸線に漂着するクジラやイルカ。そのように漂着した生物のことを研究者は「ストランディング」とよんでいます。どこから来たのか、何を食べていたのか、何才なのか、クジラやイルカは話して教えてくれません。ワークショップでは、クジラとイルカについて紹介したあとに、漂着して死んでしまったクジラ・イルカを調査することで何がわかるのかをお話します。また、実際にクジラやイルカなどの骨を見て、私たち「ヒト」と、どこがどうちがうのか、一緒に考えてみましょう。



漂着したクジラ



研究用試料採取

2022年

日時： **8月21日** (日) 13:30 ~ 15:30

会場：複合施設こらす 会議室ABC

対象：市内在住の小学生1名(4年生以上)とその保護者1名

定員：20組(抽選) ※抽選の結果は8月上旬に郵送します。

申込：中央図書館カウンター・電話・申込フォーム

締切：7月26日(火)



申込フォーム

お申込みは、中央図書館 ☎23-7001

内容についての問い合わせは、水産振興課 ☎32-6791

パネル展示 中央図書館 8月2日(火)から8月31日(水)